

(別添4)

【珠洲市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

- ・小学校、中学校、義務教育学校において、ICTを効果的に活用することで授業改善につなげ、子供たちが個々を理解して関わりながらねらいに迫る「個別最適な学び」と、子供たちから引き出した多様な考えを生かしながらねらいに迫る「協働的な学び」を実現していくことで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた「主体的・対話的で深い学び」を目指していく。
- ・中学校、義務教育学校・後期課程においては、各教科等の特質に応じ、学校や生徒の実態を踏まえた上で、ICTを活用した学習活動を積極的に取り入れ、生徒の資質・能力の育成を目指していく。また、生徒がICTを活用して自らの学びを自己調整しながら学習を進めていくことで、自律的に学ぶ生徒の育成を目指していく。

2. GIGA第1期の総括

- ・令和2年度に中学校、義務教育学校・後期課程に、令和3年度に小学校、義務教育学校・前期課程にChromebookを1人1台端末として整備するとともに、アクセスポイントなどの整備を行ってきた。また、県教育委員会のご協力のもと、GIGAスクール対応研修などの教員研修に参加するとともに、GIGA校内研修推進リーダーを校務分掌として位置づけ、各校に1名以上のリーダーを配置して校内研修の充実を図ってきた。
- ・児童・生徒1人1台端末環境が実現したことで、授業等におけるICTの活用が進み、児童・生徒がそれらを活用して情報収集したり、資料を共有したりするなどの学習活動が実施できるようになった。また、学校と家庭を結んだオンライン学習や学校間を結んだ交流学习の機会が増えた。
- ・児童生徒が端末を使う授業を、日常的に実施している教員数が年々増加している一方で、端末を使う教員と使わない教員に活用の差が生じてきている。センター研修の活用や校内研修の充実を推進するとともに、具体的な活用場面や活用方法についての資料等の提供などに取り組んでいく。

3. 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用

1人1台端末を活用した授業が増加している。令和6年度全国学力・学習状況調査の質問調査では、授業においてPC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用していると回答した児童は66.6%、生徒は90.2%であり、全国平均を上回っている。今後は、授業だけではなく、学校生活の様々な場面において、児童・生徒が主体的に

1人1台端末を活用することができるよう、先進校の取組や好事例を共有し、活用場面の幅を広げていきたい。

(2)「個別最適・協働的な学びの充実」

個別最適・協働的な学びの一層の充実に向けて、児童・生徒自身が理解度や進度に合わせながら学習方法や学習内容を選択し、主体的に学習する場面や、学校間を結んだの交流学习の場を増やしていきたい。1人1台端末を効果的に活用することで、児童・生徒自身が自らの学びを自己調整しながら、各教科等で育成すべき資質・能力を確実に育んでいくことができるように、センター研修の活用や校内研修の充実を推進するとともに、具体的な活用場面や活用方法についての資料等の提供などに努めていきたい。

(3)「学びの保障」

令和6年1月1日の発災後、全ての市立学校でオンライン授業を実施した。1人1台端末を活用して、緊急時等における学びの保障や欠席（短期、長期）の児童・生徒等への支援を進めていく。様々なICTの活用法についての研修や実践を進めていきたい。